

TTC 定例山行実施記録表

2017年2月4日 報告者:KT

山行名	矢倉岳 870m (神奈川県南足柄市)											
実施日	平成28年2月4日(土) 日帰り マイカー4台利用											
天候/参加人員	天候:快晴 レベル:★☆☆ 参加者:申込17名/実施16名(男9名/女7名)											
パーティスタッフ	CL/計画/: SL:、会計:、救護: 写真: スタッフ名削除											
参加メンバ	A班:☆ B班:☆ C班:☆ D班:☆ 参加者氏名削除											
費用 1500円	交通費:1200円 うどんパーティ費用:300円											
	歩行時間	休憩時間	行動時間									
	計画	3:00	1:15	4:15								
	実行	3:42	1:53	5:35								
歩行距離:約8.4km												
実行コースタイム記録												
	(東名高速)	33	44	21	14	50						
ヨ一カド前	==地蔵堂駐車場	——	鉄塔	——	山伏平	——	矢倉岳	——	山伏平	——	万葉公園	
8:30		9:20	9:40	10:13	10:20	11:04	11:10	11:31	12:46	13:00	13:50	14:00
35	25											
——	東屋	——	地蔵堂駐車場(解散)									
14:35	14:50	15:15	15:25									
コースの概要、特記事項、反省事項等												
<p>経過 当初公共交通利用で計画したが、走行距離も40km足らずの近場でもあり、登山口と下山口が同じで、うどんパーティなどの準備なども考慮し何かと都合なのでマイカーの台数を限定し現地(地蔵堂駐車場)集合にした。班長には事前にマイカーとうどんパーティ用具の準備をお願いし、了承を得た。メンバーには実施日の天候次第で中止する旨、メールで連絡しこの日を待った。</p> <p>実施概要 出発時の気温は5度以下に冷え込こんだが快晴の天気だった。班ごとにマイカーに分乗し東名高速道を利用し45分ほどで矢倉沢の地蔵堂駐車場に到着、すでに駐車場には10台ほど車があった。この駐車場は広くて無料で水場やトイレなどもあり、矢倉岳や金時山に登るには最適の駐車場だ。路線バスもここが終点である。準備体操を済ませてリーダーがスタッフの紹介と計画の変更について説明をした。シニアメンバーが4名参加しているのでD班にまとめて歩行のローテーションから外しリーダーの後ろを歩くことを了解してもらった。他にうどんパーティのために用意した食材や用具を分担して背負い出発する。澄んだ青空が眩しいほどの快晴だ。足柄峠への舗装道路を横断し茶畑を通過して急坂を登り、万葉コースの登山道に出る。左へ行けば万葉公園、今日の下山道でもある。汗ばんできたので脱ぎタイム。ここから分岐の標識を見てここまで登って来たと同じくらいの急坂を下りて沢を渡り山伏コースに出る。ここからはしばらく見晴らしのない杉林の中を送電線鉄塔まで登る。登山道は明瞭である。この登山道はシーズンでも人が少なくこの季節はほとんど姿を見ることは無いようだ。視界が開けた鉄塔の場所で休憩、風がほとんどなく気温もだいぶ上がってきたように感じる。鉄塔を3基ほど越すと緩やかな勾配の杉林の中をしばらく行く。万葉公園から来る登山道と合流すればすぐ山頂直下の山伏平である。急登を前に一服、あまり汗もかかずに快適に登れるのがこの季節のいいところだ。ここら先は樹高の低い雑木の中を階段状の登山道が山頂まで、標高およそ170メートルの登りが続く。林の切れ間に青空が開けて振り返ると雪を被った富士山がよく見えて初めて来た人の誰もが歓声を上げる絶景の登山道だ。ゆっくり20分ほどで草原状の山頂に着く。山頂からの眺望は富士山、愛鷹山、眼前に金時山、明神、明星ヶ岳、噴煙上がる大涌谷と駒ヶ岳など箱根の連山をパノラマで望むことができる。好天が人を呼んだのだろう。思った以上に人がいた。下山する人もいて難なく16名がまとまってうどんを作り食べる場所を確保できた。用意した食材を4班に分けて調理する。段取りよく10分ほどで完成、だしの濃いうすいはあったろうが美味しかったと好評をいただいた。大したことではないがこんなことが山行の思い出になってくれればいいと思う。この時期、山頂でこんなに穏やかな日は滅多にない。もう少しこのまま居たいと思ったので用意してきたハーモニカで「丹沢の四季」「早春譜」を合唱、少し恥ずかしかったけれどみんなも歌ってくれたのでうれしかった。帰路は万葉公園に立ち寄り、万葉コースを下って地蔵堂駐車場に戻り解散にした。</p>												